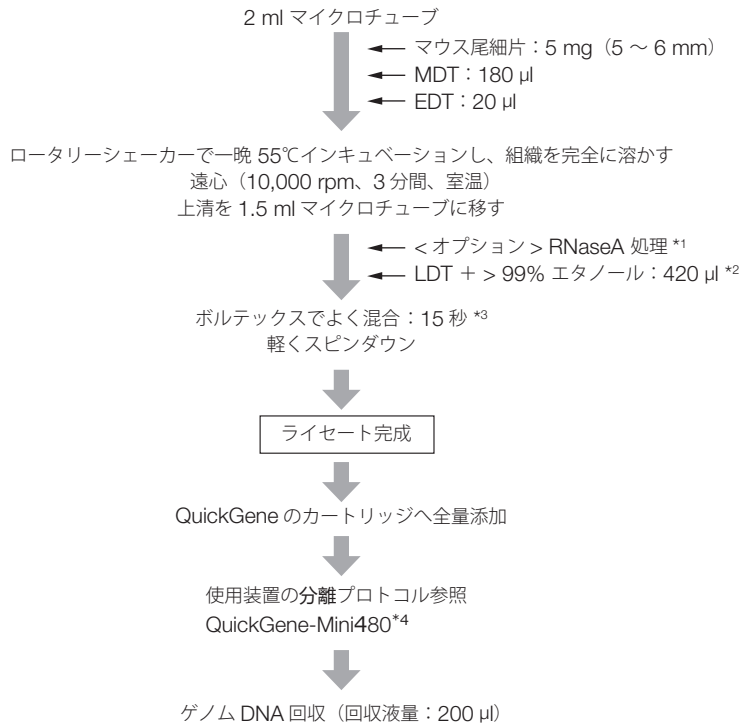


マウス尾細片からのゲノムDNA分離

プロトコル



*1 オプションステップ
RNaseA：20 μ l
タッピングして溶液を混合
軽くスピンドウン
室温で2分放置。

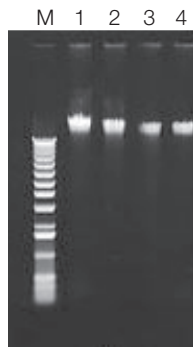
*2 使用前に、180 μ l の LDT に
240 μ l の > 99% エタノールを添
加して完全に混合。

*3 ボルテックス (最大回転数) で完
全に混合してください。
ボルテックスで混合不十分なら
ば、タッピング、ピベッティング
または転倒を使用してください。

*4 本事例は旧機種で取得したデータ
も含まれます。
その他 QuickGene シリーズでもこ
のプロトコルをご参考頂けます。

結果

■ マウス組織からの分離ゲノム DNA のアガロースゲル電気泳動 (AGE)



M：サイズマーカー
1：肺組織サンプル
2：腎臓組織サンプル
3：尾組織サンプル
4：肝臓組織サンプル

■ マウス尾からの分離ゲノム DNA

● ゲノム DNA (組織 5 mg) の収量

QuickGene 分離システムと試薬	3.6 μ g
スピнкаラム法を用いる比較法	3.6 μ g

● タンパク質の混入：A260/280

	#1	#2	#3	#4	#5	#6	#7	#8
QuickGene 分離システムと試薬	1.95	1.94	1.95	1.93	1.95	1.97	1.96	1.96
スピнкаラム法を用いる比較法	1.96	1.94	1.97	2.01	1.95	1.99	2.00	1.99

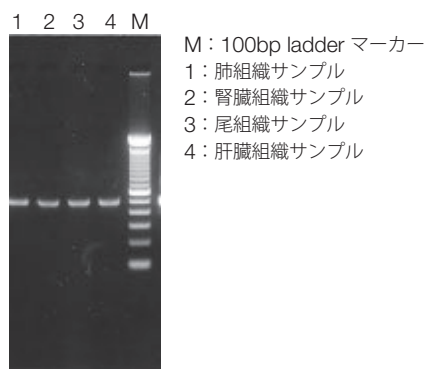
● カオトロピック塩の混入：A260/230

	#1	#2	#3	#4	#5	#6	#7	#8
QuickGene 分離システムと試薬	2.03	2.05	2.12	1.84	1.90	1.88	1.90	1.91
スピнкаラム法を用いる比較法	1.57	1.71	2.03	1.77	2.21	2.31	1.94	1.96

■ その他

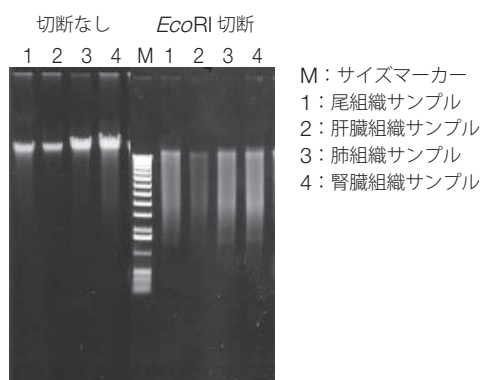
● PCR

QuickGene 分離システムと試薬を用いてマウス組織から分離されたゲノム DNA で増幅された *G3PDH* PCR 断片のアガロースゲル電気泳動 (AGE)



● 制限酵素切断

QuickGene 分離システムと試薬を用いてマウス組織から分離されたゲノム DNA での *EcoRI* 制限酵素切断断片のアガロースゲル電気泳動 (AGE)



■ 共通プロトコルサンプル

データなし